



『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 市議会報告

【事務所】 船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117
Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp
ホームページ http://www.hiroei.jp

未曾有 (みぞう) 。 麻姑搔痒 (まこそうよう)

【未曾有】◇これまでに一度もなかったこと。極めて珍しいこと。

・「未(いま)だ曾(か)つて有(あ)らず」の音読み。

【麻姑搔痒】◇物事が思いどおりに運ぶ、ということ。

・「麻姑」は、中国の伝説上の仙女。「搔痒」はかゆい所を搔く。麻姑は鳥のような長い爪を持ち、かゆい所を搔いてもらうと気持ちがいだろうと思われた、ということから。

・「麻姑の手」が、背中を搔く道具「孫の手」の語源とされる。

あの東日本大震災から1年になります。今も毎日のように日本の何処かで地震が起き、首都直下型で震度7の大地震が発生する恐れがあるとも報じられています。昨年『未曾有』のことばかりです。被災地の一刻も早い復旧と復興を祈ります。

さて、船橋市は2月22日に、平成24年度の当初予算を発表しました。一般会計は前年度比 0.9%増の1735億5000万円、国民健康保険や介護保険、下水道などの特別会計が1257億4200万円、医療センターと市場の企業会計が176億5000万円、全会計合計で3169億4200万円の前年度比で1.3%の増となりました。

2月27日から3月議会が開会されています。この議会は予算審議するため、年4回ある定例会で一番重要視されています。私は3月13日に質疑を行います。また、予算特別委員として3月19日から23日まで委員会審議を行います。

今号は、市長から提案された一般会計予算の中から注目するものを掲載します。なお、内容についてはこれから議会で審議しますが、不明なことなどがございましたらご連絡戴ければ幸いです。



【安全・安心の実現】

◇地域防災計画と津波避難計画を策定し津波ハザードマップを全戸配布 (2219万円)

現行の地域防災計画に津波の想定を加え、津波に対する避難行動や避難場所、避難路を示す津波避難計画を策定するとともに「津波ハザードマップ」を作成して全世帯に配布します。

◇町会・自治会に防災ラジオを配布 (2703万円)

聞こえにくく何を言っているのか分かりにくいと、批判の多い「防災行政無線」からの放送を受信できる「防災ラジオ」を、100世帯に1台を目安に配布します。



◇防災行政無線設備の更新と新設 (5686万円)

この防災行政無線は 現在、市内に170カ所ありますが、船橋小学校の改築に伴い移

設したり、新たに芝山の石の山児童遊園と小室4号緑地に設置します。なお石の山児童遊園に新設されるものは、私が当該自治会から依頼された不要となった大型共同受信アンテナの撤去を、市と協議し『麻姑搔痒』有効活用することになったものです。

◇私立幼稚園の災害対策に要する費用に助成（495万円）

私立幼稚園が行う、非常食や飲用水の備蓄などの災害対策に要する費用に対して、園児一人あたり500円を助成します。



【福祉体制の確立】

◇新たに整備する保育所用地の取得（2億768万円）

飯山満町2丁目（飯山満駅そば）に整備予定の保育所用地を取得するとともに、事業者の選定を行います。また、旭硝子船橋工場跡地（新船橋駅そば）の開発事業地内で市に寄付される予定の保育所用地について事業者の選定などを行います。

◇保育園、児童ホームなどにAEDを設置（311万円）

現在は、市役所、公民館、市立小・中・高等学校など228公共施設にAED（自動体外除細動器）が設置されていますが、これに加えて、公立保育園（26）、児童ホーム（14）、放課後ルーム（5）、子育て支援センター（1）にAEDを設置します。

◇放課後ルームを整備（8888万円）

坪井放課後ルームの定員を55人から112人に増員、若松放課後ルームの定員を65人から130人に増員するための整備をします。

【教育環境の充実】

◇小・中・高等学校などの耐震化を促進（8億4854万円）

耐震診断の結果を基に校舎の改築や校舎・体育館の耐震改修工事、耐震補強設計を行います。主なものを以下に列記します。

- ・耐震改修など（校舎）二宮小・七林小・芝山西小など
（体育館）芝山東小・飯山満小・飯山満南小・前原小・習志野台中
・二宮中・前原中など
- ・校舎整備など（外壁、屋上防水など）飯山満南小・薬円台小・中野木小・前原中
など
（防火設備など）習志野台第一小など
（便所改修など）二宮中など
（排水設備など）薬円台小・高郷小など
- ・設計委託関係（校舎耐震補強設計）習志野台第二小・薬円
台南小・七林中など
（校舎増築設計）坪井小
（校舎改築設計）前原中・湊中



【地域経済の活性化】

◇住宅リフォーム地域経済応援券を発行（6721万円）

住宅のリフォーム工事を市内施工業者により実施した市民に、工事費の10%を商品券で交付します。あまりにも好評のため、前年度の2倍強の予算です。

【医療の充実と健康作り】

◇（仮称）保健福祉センターの建設に向けて用地を取得し、基本・実施設計を実施

（8億893万円）

平成27年10月オープンの予定で、北本町1丁目に5666㎡を取得し、5階建て保健所、夜間休日急病診療所、家庭児童相談室、こども発達相談センター、中部地域包括支援センターなどが入る建物を建設します。